

観点・分野 ゾーン分け	道路・交通	土地利用・建物用途	街並み・雰囲気・緑・景観	庁舎跡地に 望むこと・望まないこと
恋ヶ窪駅前	- 東口がなく不便、橋上駅にするなど利便性向上を図ってほしい - 駅前のロータリーを整備してほしい - 送迎車で歩行者が危険な時間がある - 車で駅にアクセスできること	- 駅東側に店舗が少なく、建替えてマンションに変わっている - 交流サロン等, コミュニケーションを図る場所がほしい - 商店街の衰退が懸念される - 駅前に商店がなければにぎわいは生まれない - 駅前にトイレを設置	- 駅前がさびれている - 駅前に恋ヶ窪という地名に関する説明板を設置してはどうか - 恋ヶ窪の由来を押し出したにぎわいの創出（住民の負担にならないようなもの） - 住宅地の中の小さな駅として身の丈にあったにぎわい - まちづくりの範囲について広げすぎるよりは、まずは駅を中心に検討した方がよい - 駅徒歩圏の住民の利便性を考えた駅周辺のまちづくりが必要 - 遊歩道のように買い物が楽しめる空間があるとよい - 健康的に過ごせる空間がほしい - 恋ヶ窪周辺全体が安心して歩ける道	【望むこと】 - 市役所敷地での新たに創造されるにぎわい - 現庁舎用地をまちづくりの視点で捉えることが重要 - 恋ヶ窪らしさが感じられるもの - 地域のシンボルとなるようなもの 「恋」のつく4駅をリンクさせるようなもの - どのような公共施設が必要なのか、しっかりと議論すべき - 市民の意見を聞いて、何をつくるのか考えてほしい - 経済的なことだけでなく、慎重に敷地の利用を考えてほしい - 市民が利用でき、かつ経済的にも地域のためになる用途 - 庁舎が移転してもにぎわいが減らないようにする - 市職員がいたことによるのと同程度以上のにぎわいを維持する - 文化施設(ふるさとを感じることできる施設) - 学校 - 医療・福祉系のもの - 情報発信の機能 - イベントスペース - 公共施設(市の機能) + α の複合施設 - 泉町を第一庁舎、戸倉を第二庁舎にし、戸倉と泉町の新庁舎をシャトルバス(ぶんバス)で結び、人を運んできてもらう - 人を呼び込むもの - 農作物の直売所 【望まないこと】 - 庁舎ではにぎわいは生まれない(賑わい創出は別の施設でもよい) - 住宅地にふさわしくない店舗や看板はやめてほしい
市役所通り沿い	- 踏切部は特に狭く危険性が高い - バス停車による一時的混雑が発生 - 駅周辺に横断歩道を増やしてほしい - 駅から市役所まで無電柱化	- 商店街を活性化してほしい - 生鮮食品の店があると暮らしやすいまちになる - 個人商店が出店しやすいまちづくりをする	- 歩道が狭い、電柱が張り出しており危険 - 子どもや高齢者に優しい道にしてほしい - 電柱の地中化を望む - おしゃれな店を増やす - 買い物を楽しめる店を増やす	
国3・2・8号線沿い	- 通学路でのガードレール設置による抜け道化の防止が必要 - 安全に横断できる仕組みが必要 - ぶんバスのルートを見直してほしい	家族連れで来訪できる沿道施設の立地を望む	- 町丁目単位での防災計画の分断を懸念 - 道路整備による地域分断を懸念 - まちづくりに国分寺3・2・8号線を活かす - 緑豊かな空間形成を望む - 国3・2・8号線と市役所通りの回遊動線が欲しい	
恋ヶ窪駅周辺の住宅地	- 道路状態の改善が必要 - 長期的には道路拡幅整備が必要 - 災害時の逃げ道の確保が必要	農地を守ってほしい	- 農住調和のまち - 緑豊かな環境を残し、増やしていくことを望む - 人口密度が低く商業だけのにぎわいは厳しい - 災害時の備えが不安 - 木造住宅密集地の解消が必要 - ブロック塀の解消が必要	
地域振興拠点全体、その他	- 生活道路の整備を優先してほしい - バスの南北方向の路線がほしい - 他の交通機関とつながっていること	- 安心して立ち寄れるトイレや休憩所があるとよい - 生活する上で買い物しやすい商店がある - 市役所がこの場所でなければ発展はできない	- 拠点ごとのにぎわい - 低層の建物によるまちづくりがよい - 住民と来訪者のバランスのとれたにぎわい - 来訪者よりも住民が暮らしやすいまちづくりにした方がよい - 公園・憩いの場の計画的な整備をしてほしい - 回遊性を向上させる	